

大会終了後に
実施

TA理論講座のご案内

白井幸子先生によるワークショップ

交流分析による人格適応論 –自分と他者への理解を深め、望ましい人間関係を築くために–

自分が交流分析と出会わなかったらどのような人生を送ったのだろうかとき々考えます。家庭生活においても、仕事をする上でも、感謝の思いをもって日々生きるということは交流分析を知らなかったなら、困難なことだったろうと思います。ストロークは人間の深い心の思いを知るのに役立ちました。また、自分の性格がどのように形成されてきたのかを理解するのに「人生脚本の分析」は明確な答えを与えてくれました。

そして、複雑で困難に感じられる人間関係を苦痛を感じることなしに乗りきって行くのに、「人格適応論」は大変役に立つ示唆を与えてくれました。人格適応論の中心にある概念は、「人の性格は幼い時の養育スタイルによって個性的に形成されていく」というものです。ポール・ウエアによれば親の養育スタイルには6つ型があり、それに対応して子どもの適応タイプにも6つの型があります。それぞれの適応タイプには長所と短所がありますので、自分と他者の適応型を知り、自分が苦手とする人の適応タイプの長所を取り入れて対応すれば人間関係はより祝福されたものになる、というのが人格適応論の著者、V.ジョインズが強調する内容です。

講師：白井 幸子先生 (ルーテル学院大学名誉教授)

プロフィール

青山学院大学文学部英米文学科卒業後、フルブライト交換留学生として渡米、エール大学神学部卒業。米国UCC教会牧師、ヴァージニア州立大学病院チャップレン(病院付牧師)、東京いのちの電話主事、国立療養所多磨全園カウンセラー、ルーテル学院大学教授(1999年～)を経て、2014年より名誉教授。臨床心理士。日本交流分析学会名誉理事

著書：看護にいかす交流分析(1983年、医学書院)。看護にいかすカウンセリング(1987年、医学書院)。臨床にいかす心理療法(2004年、医学書院)。ナースの感情整理術(2017年、MCメディカ出版)、その他。

訳書：シュナイドマン、E。(白井徳満、白井幸子訳)自殺とは何か(1993年、誠信書房)。ジョインズ、V. & スチュアート、I。(白井幸子・繁田千恵監訳)交流分析による人格の適応論(2007年、誠信書房)。ジョインズ、V。(白井幸子、繁田千恵、城所尚子訳)。ジョインズ人格適応型心理検査(第3版)2007年、誠信書房)、その他



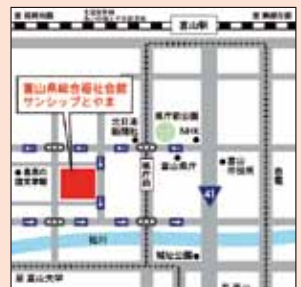
お申込：年次大会の申込用紙をご利用ください。
(理論講座だけの申込みも可能です)

参加費：15,000円(税込)
(事前にお振込み下さい。原則として参加費のご返金はいたしません)

日時	平成30年10月7日 午後1時30分～4時30分 平成30年10月8日 午前9時30分～4時30分
会場	サンシップとやま 701号室 富山県富山市安住町5-21

※年次大会終了後に実施します。

会場地図



受講定員：50名

主催：NPO法人 日本交流分析協会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目19-21 橋ビル3階
TEL.03-5282-1565(代) FAX.03-5282-1566